

移植版

まなぶ はじめてのひらがな

— ゲームでまなぶ —

重度の身体障害児を対象としたアプリが、誰もが使えるアプリになりました！！

マウス、視線、スイッチで操作可能！

「文字打ち」がまだできないお子さまが、パソコン操作により、ひらがな習得に向けて楽しくまなべます。



以前よりご紹介しておりましたアプリ「まなぶはじめてのひらがな」を、トビーコミュニケーターから移植。Windows PCであれば、マウス、視線、スイッチで操作可能になりました。それと共に、「ゲームでまなぶ：もぐらたたき（注視の練習になります）＆ベネッセのゲーム（好きなものを選んでね！！）」を新たに加えました。

特徴

- ① 動画で疑似体験
- ② 文字を覚えていない子どもも「音」で理解できるように「画像」「文字」と共に読み上げています
- ③ 「おしまい」ボタンが各画面に設けてあり、子どものペースで進めていけます

使用目的

- ① ひらがなを習得するための導入教材
- ② 子どもの理解度の確認
- ③ 注視の練習
- ④ ゲームを通じ、自分で「できる」喜びを
- ⑤ 視機能訓練

対象

ひらがなが未修得のお子様
例) 先天性ミオパチー、
脊髄性筋委縮症、
脳性麻痺、
頸椎損傷、等々

使用後のご感想

さっそくダウンロードし少し触ってみました。視線操作に別ソフトが必要なのかなと思っておりましたが必要なく驚きました。このソフト単体で色々な操作方法が選べるので対象になるお子様が広がります。

(事業所支援者より)

パソコンにインストールして、小学2年のCPアテトーゼのお子さんに今日使ってみました。とてもよかったです！！ 1.初歩的な問題で理解度を評価できる 2.正しく選ぶまで次に進まない 3.成功体験を積める 4.興味を持てる図柄 5.視線合わせの的が大きい 6.音声フィードバックがあるなど。(教員より)



コンテンツの活用について

このソフトは、視線だけではなく、マウスやスイッチで操作できるように制作しています。

ひらがな学習を目指しているお子様に「いろ」「かたち」「かず」「ひかく」「ひらがな」を学ぶための素材として選んだ動画、画像、文字、読み上げによる「問い」から構成。

お子様の気付かなかった力が可視化され、成長に向けた関わり方のヒントが得られるようにと考えました。

コンテンツの内容は、「アニメ動画」の映像の一部(それぞれ5～10分程度)と、視聴した後にその内容の理解を助けたり、理解を確認するための「問い」を基軸にしています。

使用方法について

お子様が一人で自由に選択→決定→実行できるように、あるいは保護者や教員とのやり取りの中で使用できるように考えました。

お子様は、普段からビデオを見ることには慣れており、動画は楽しんで見ると思います。ですが、「問われる」ことに慣れていないため、動画の後の「問い」には関心を示さないかもしれません。そのような場合にも、お母様や先生たちがお子様を励まし、普段の生活に関連付けて、お子様が興味や関心を持って取り組めるよう声掛けをしてあげてください。また、正解した時はもちろん、間違っても何度もやり直して

取り組んでいる時には、思いっきり褒めてあげてください。

そうすれば、次はもっとうまくやろうと意欲をもって頑張れると思います。一人で自由に使えるようにしてあげたら、お子様はサクサク進めていくかもしれません。

このコンテンツのみで平仮名学習が達成できるというものではありませんが、他のアプリや絵本、カードなどとも組み合わせ、お友達と競争するなど、意欲を高めつつ、気長にやり続けることがとても重要です。

お子様の力を信じましょう！ ひらがなを習得し、「自分」を発信することで、人との交流がはぐくまれ、お子様の世界が広がっていくことを願っています。

ご使用になる前に・・・

- ◎ ご使用いただく前に、必ず「操作マニュアル」をお読みください。
- ◎ ペネッセのゲーム等をご利用いただくためには、インターネットへの接続が必要です。
- ◎ ファイルのコピーは、禁止されています。

動画は小学館及び関係者様のご厚意により、「コロコロアニマル(c)2006 MC/Project ColoColoAnimal 原作 Naomi Iwata」「どっちどっちーず(c)Jun Ichihara, Kotomi Wada」(めばえ増刊 はじめてのひらがな・かず・ABC 2013年夏号収録)、「あいうえおしょうかい(c)Kotomi & Pla-Pla・小学館」(めばえ増刊 クリスマスえいご・ひらがなブック 2013 収録)、「ペネロペとあそぼう(c)うっかりペネロペ製作委員会」(めばえ増刊 はじめてのひらがな・かず・ABC 2013年冬号収録)、「くるみわりになぎょう(c)石井睦美・木村法子/Shogakukan」(おひさま 2013年12月号収録)を使用しています。

「もぐらたたき」は、比治山大学「吉田研究室」の製作によるものです。



チラシデザイン・イラスト 益子 千枝

試用・利用をご希望の方、ご質問のある方は、鈴木真知子 (msuzuki@hs.med.kyoto-u.ac.jp) までご連絡ください。

監修 京都大学医学研究科 成育看護学分野 鈴木真知子
協力 京都大学こころの未来研究センター教授 (センター長) 吉川左紀子 博士 (教育学)
編集協力 特定非営利活動法人 ゆに (～京都から障がい学生支援を広めよう！～)
株式会社ユニコーン (テクノロジーと福祉の融合「miyasuku」) <http://www.miyasuku.com> E-mail : info@miyasuku.com
2013年度ファイザーヘルスリサーチ振興財団から研究助成を得て制作しています。